

愛媛県がん診療連携協議会 緩和ケア専門部会議事録

1. 日時 令和3年7月26日（月） 18:00～19:00
2. 場所 Web 開催（Zoom）
3. 司会 成本部会長（四国がんセンター） 書記 伊勢家（市立八幡浜総合病院）

参加：参加者：32名（16施設/18施設）

欠席：愛媛労災病院 西条愛寿会病院

4. タイムスケジュール

18:00～18:02 挨拶

18:02～18:20 各施設の現状報告

18:20～18:45 グループワーク

「緩和ケアチームの質が向上する具体的な取り組みを考える」

18:45～18:55 各グループ発表

18:55～19:00 まとめ

5. 内容

1) 各施設の現状報告

緩和ケアチームの概要・緩和ケア病棟の資料をメンバーに事前配布し、Zoomで画面共有しながら、昨年からの変化のあった施設は補足説明を行った。

①チームメンバーの活動状況

- ・スタッフ1名減少に伴い、外来日を縮小している。
- ・チーム回診（チームラウンド）5回/週（2施設）・1回/週（9施設）・2回/週（2施設）
- ・チームカンファレンス1回/週（13施設）・2回/2週（2施設）・1回/2週（1施設）
- ・がん患者以外に非がん緩和ケアの患者も対応している。
- ・多職種が揃っており、各専門の医師と相談できる利点がある。
- ・心理的支援の介入が多いが、原因が痛みや身体症状が多くそれらに関わっている。
- ・麻薬使用患者が少ない施設では、1症例に対しアセスメントシートを用いて丁寧な対応ができています。

②コロナ感染患者受け入れ状況

コロナ感染患者受け入れにより2施設が緩和ケア病棟を閉鎖している。

- ・コロナウイルス感染者を受け入れるため、緩和ケア病棟を閉鎖し、緩和ケア病棟の患者を一般病棟に移動した。一般病棟でみる難しさがある。
- ・コロナウイルス感染患者受け入れのため、緩和ケア病棟を1～6月まで閉鎖し、7月に再開したが、再度8月再閉鎖となる。そのため、一般病棟へ緩和ケア病棟患者を転棟する。在宅とサポートケアチームでの提供がある。

③管理に関する状況

- ・入院管理料 2→1 へ変更した。
- ・せん妄ハイリスク加算を取得している。
- ・在宅緩和モデル事業をしている。
- ・地区のモデル事業のバックベッドになっている。

2) グループワーク

テーマ「緩和ケアチームの質が向上する具体的な取り組みを考える」

事前に日本緩和医療学会セルフチェックプログラムのツール(Check シートと集計表)を活用し、自施設の緩和ケアチーム活動を評価した。その結果から、今後の緩和ケアの発展のためにどのような取り組みをすればよいか話し合った。

1 グループ(拠点病院)

<現在の問題点>

- 1.緩和ケアチームへの依頼は、医師からの依頼でないと介入できない。
- 2.依頼があった時に、依頼部署との情報共有が不十分な場合がある。
また、チーム内の様々な職種に依頼があった時に、こういった依頼内容であったか、緩和ケアチーム内で共有できない場合がある。
- 3.緩和ケアチームで対応を検討し提案するが、チームの推奨が受け入れられないことがあり、それに対して確認ができないことがある。

<対策>

- ・緩和ケアチームに依頼があった場合は、緩和ケアチームと依頼部署との情報共有を行う。
- ・各職種に依頼があった場合は、依頼内容によって必要な職種が介入できるように、チーム内で検討後に対応する。
- ・緩和ケアチームで提案した推奨内容が実施されない場合は、推奨理由を伝え、記録に残す。医師の性格なども把握し、提案の仕方などの工夫も必要である。
- ・あくまでも推奨であり、受け入れられない場合があっても仕方がない。

2 グループ(推進病院)

<現在の問題>

- 1.エンドオブライフのタイミングで、新型コロナウイルス感染の拡大している状況であり、面会を禁止している。
- 2.患者満足度調査ができない状況である。
- 3.処方権、主体性をどのくらいもち、あたれているのか話し合うと、基本コンサルテーションの施設が多い。提案したことをそのまま受け入れられないことがあり、ジレンマがある。

<対策>

- ・コロナ感染拡大に伴い、各施設で様々な工夫が必要で実践している。
- ・面会禁止のため、オンライン面談をしている。

- ・このような環境下で、認定看護師の活躍があり重要で、チームの推奨を主治医に受け入れてもらうために、伝え方の工夫をしている。更に、緩和ケアチームラウンドやミーティングに主治医が同席してコミュニケーションを密にすることで成果がでている。

6. その他

- ・令和2年度の年間麻薬使用受け払い状況の提出を依頼した。

次回：2021年11月予定

書記担当：済生会松山病院